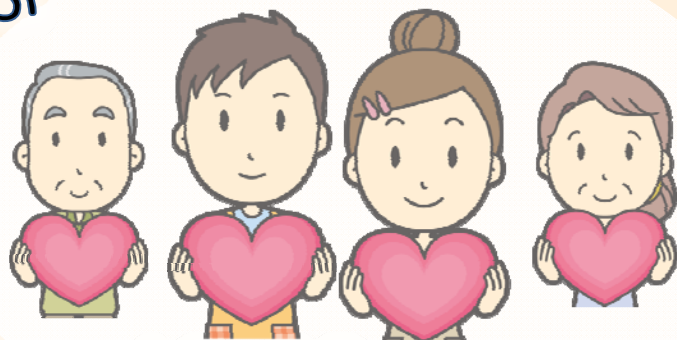


基礎からしっかり学ぶ 介護職員 実務者研修科

実践コース 介護福祉分野



募集期間

令和2年10月8日(木)～令和2年10月28日(水)
※ただし定員に満たない場合は、令和2年11月4日(水)まで募集を延長します。

訓練期間

令和2年11月26日(木)～令和3年5月25日(火)（6ヶ月訓練）
9：20～16：00（昼休み 12：10～13：10）

※土・日・祝日、年末年始（12月29日～1月3日）の訓練はありません。

※実習中は企業実習先施設によって訓練時間が異なります。

新型コロナウイルスの状況により、日程が変更される場合があります。

対象者	雇用保険を受給できない方（優先）で、就職意欲が高く訓練修了後早期に就職でき、公共職業安定所長の支援指示を受けられる方。 受講申し込みをされる方は、公共職業安定所の窓口にてご相談ください。	受講料	無料 ※実務者研修の法定講習に係る補講料：1日 1,000円
申込先	原則として住所を管轄する公共職業安定所へ訓練受講申込書を提出ください。 申込時に必要なもの：縦4cm×横3cmの写真1枚（6ヵ月以内）、 認印、筆記用具	テキスト代等	13,200円（税込み） ※健康診断料、企業実習に伴う交通費（6日間）：実費
定員	25名 ※応募者が半数に満たない場合は開講しない場合もあります。		
選考日時	令和2年11月10日（火） 9：30～（受付時間 9：00～） ※選考会に欠席のときは辞退とみなします。	選考場所	下記に記載の訓練施設と同じ
選考方法	面接	持ち物	なし
選考結果発送日	令和2年11月13日（金） ※本人あてに郵送にて可否の通知をいたします。		
実施施設への交通手段	駐車場：なし（自転車・バイクの駐輪場有） ※近隣に1日¥300～¥500のコインパーキング有 最寄駅：とさでん交通「知寄町1丁目」電停下車・徒歩3分		
重要なお知らせ	合格者は受講中に、公共職業安定所の指定する日に来所し、就職支援を受ける必要があります。 本コースの指定来所日は、 令和3年1月5日（火）、1月28日（木）、3月2日（火）、3月30日（火）、4月28日（水）、5月28日（金）です。 一定条件を満たす場合は、「職業訓練受講給付金」が支給されます。		

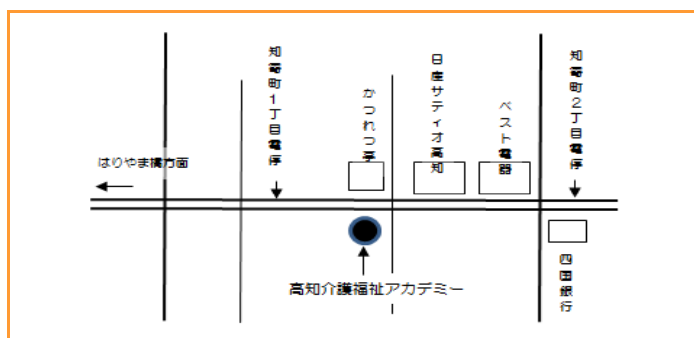
就職実績	雇用保険適用就職率：77.77% その他就職率：94.44%	訓練説明会	令和2年10月8日（木）、10月15日（木）、10月22日（木） 募集延長の場合は、11月2日（月）にも説明会を実施します。 ※詳細は、別紙チラシをご覧ください。
------	-----------------------------------	-------	---

訓練実施機関：有限会社 青い鳥

訓練実施施設：高知介護福祉アカデミー

所在地：〒781-0806 高知市知寄町1丁目8-11

TEL：088-855-7502（担当：谷口、田所）
受付時間：8：30～18：00（土・日・祝除く）





訓練カリキュラム



訓練目標	介護福祉士実務者研修のカリキュラムを通して、介護の基本理念と基礎的な介護技術を習得することによって、介護施設事業所及び障害者施設等への就労ができる。		
就職を想定する職業・職種	訪問介護職 施設介護員	訓練修了後に 習得できる資格	【名称】介護福祉士実務者研修修了 【認定機関】高知県認定 有限会社 青い鳥

	科目	科目の内容	訓練時間
訓練内容	開講式・オリエンテーション、閉講式	開講式・オリエンテーション（3H）、閉講式（3H）	
	就職支援	介護現場の求める人物像を知る、履歴書、職務経歴書、ジョブカードの書き方、面接の受け方をシミュレーション方式で学ぶ	18時間
	安全衛生	心身の健康管理、整理整頓の原則	2時間
	人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立、介護における尊厳の保持・自立支援	6時間
	社会の理解Ⅰ	介護保険制度	6時間
	社会の理解Ⅱ	生活と福祉、社会保障制度、障害者自立支援制度、介護実践に関する諸制度	30時間
	介護の基本Ⅰ	介護福祉士制度、尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の論理	12時間
	介護の基本Ⅱ	介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全	24時間
	コミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	24時間
	生活支援技術Ⅰ（座学）	生活支援とICF、環境整備、福祉用具活用等の視点についての基礎知識	12時間
	生活支援技術Ⅱ（座学）	利用者の心身の状況に応じた介護についての基礎知識	3時間
	介護過程Ⅰ	介護過程の基礎知識、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ	24時間
	介護過程Ⅱ	利用者の状態（障害、要介護度、医療依存度、居住の場、家族の状況等）における事例、事例における介護過程の展開、観察のポイント、安全確保・事故防止、家族支援、他機関との連携考察	30時間
	発達と老化の理解Ⅰ	老化に伴う心の変化と日常生活への影響、老化に伴うからだの変化と日常生活への影響	12時間
	発達と老化の理解Ⅱ	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病等と留意点	24時間
	認知症の理解Ⅰ	認知症ケアの理念、認知症による生活障害、心理・行動の特徴、認知症の人とのかかわり・支援の基本	12時間
	認知症の理解Ⅱ	医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実践	24時間
	障害の理解Ⅰ	障害者福祉の理念、障害による生活障害、心理・行動の特徴、障害児者や家族へのかかわり・支援の基本	12時間
	障害の理解Ⅱ	医学的側面から見た障害の理解、障害児者への支援の実践	24時間
	こころとからだのしくみⅠ（座学）	介護に関連した身体の仕組みの基礎的な理解（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔）	21時間
	こころとからだのしくみⅡ（座学）	人間の心理、人体の構造と機能、身体の仕組み、心理・認知機能等を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント	12時間
	医療的ケア（座学）	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引・経管栄養・喀痰吸引演習・経管栄養演習（胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養）・救急蘇生法演習を行うにあたっての基礎知識、人間の尊厳と医療の倫理、医療・介護関連法規とチーム医療	60時間
	実習事前講習	介護実習に向けての心構え、注意事項等の説明	6時間
	実習事後講習	介護実習後の事例検討、振り返り	12時間
	修了審査	実務者研修学科修了テスト	3時間
	生活支援技術Ⅰ（実技）	ボディメカニクスの活用、介護技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等）	8時間
	生活支援技術Ⅱ（実技）	利用者の心身の状況に合わせた介護、福祉用具等の活用、環境整備、終末期の介護（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護）	28時間
	介護過程Ⅲ（実技）	介護過程の展開の実践、介護技術の評価	48時間
	こころとからだのしくみⅡ（実技）	介護・連携等の留意点（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護）	48時間
	医療的ケア（実技）	喀痰吸引、経管栄養、喀痰吸引演習（口腔、鼻腔、気管カニューレ内部）、経管栄養演習（胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養）、救急蘇生法等の演習 ※シミュレーター装置による演習となります。	48時間
	救命講習	心肺蘇生法演習、人工呼吸技術演習	4時間
	企業実習	施設・居住型への実習、通所介護事業所・小規模多機能型対応への実習、訪問介護事業所への実習 ※実習先は高知県内多数の中から選択	42時間
	職業人講話	「介護現場の状況やサービス内容について」 6時間×1日、3時間×1日 高知家の女性しごと応援室アドバイザー	9時間
	訓練総合計	学科 413時間	実技 184時間
	648時間	職業人講話 9時間	企業実習 42時間



医療的ケア（喀痰吸引・経管栄養）の勉強を、座学60時間・実技48時間をかけて行います。実技では、写真のようなモデルを使って学習します。



車いす・ベッド等、実技に必要な物品を十分に取り揃えています。

教室にはプロジェクターやスピーカーを備えており、DVD等の映像教材を使つての学習も取り入れています。



基礎からしっかり学ぶ 介護職員実務者研修科 11月開講コース 説明会のご案内

～介護の資格・介護業界・就職状況について～

「介護福祉士実務者研修」の資格についてはもちろん、
介護業界や就職についても分かりやすくご説明いたします。
訓練を受けるにあたって、訓練カリキュラムや訓練用設備など実際に見て
頂きたいと思いますので、ぜひお気軽にご参加ください。
皆様のお越しをお待ちしております。



- 受講対象者：再就職のために、職業訓練の受講を希望される方等
- 受講料：無 料
- 携 行 品：筆記用具
- 説明会予定日：（各回 1 時間程度）

開催予定日	時間
令和2年10月8日（木）	14：00～15：00
令和2年10月15日（木）	
令和2年10月22日（木）	

<募集延長時>

令和2年11月2日（月）	14：00～15：00
--------------	-------------

- 場 所：高知介護福祉アカデミー
- 説明会：申し込み不要ですので、お気軽にお越しください。
- そ の 他：上記参加ができない方は、事前予約をして頂ければ個別にも対応させて頂きます。お気軽にご相談ください。



お問い合わせ

TEL: 088-855-7502

担当：谷口、田所

「基礎からしっかり学ぶ介護職員実務者研修科」 の特徴

(裏面)

1

介護福祉士の受験資格になる「実務者研修」の学習ができる

認定介護福祉士

介護福祉士

実務経験3年

実務者研修
(ヘルパー1級相当)

初任者研修
(ヘルパー2級相当)

「**実務者研修**」は旧ヘルパー1級と同等程度の資格とされており、介護の資格の中では上位になります。

平成28年度からは、介護福祉士（国家資格）を受験の際、実務経験3年に加えてこの**実務者研修の修了が必須**となっているため、キャリアアップに有利な資格となっています。（左図参照）

介護事業所は、介護福祉士が職員の中に一定数以上いると受けられる加算があるため、**介護福祉士を目指す職員（＝実務者研修を取得している方）はより良い条件での雇用に繋がりがやすい**ということが言えます。

2

6ヶ月かけて、介護の基礎から応用まで丁寧に学習することができる



学習期間が長いからこそ、一つひとつの科目を基礎から深く勉強でき、**介護経験のない初心者の方も安心して受講していただけます**。また、医療的知識や障害、認知症など、幅広い分野を学習することも当講座の特徴です。

自分の体を守る介助技術（腰痛予防）や利用者様の安全を確保した介助技術をしっかりと身に付けることができるため、結果的に安定した長期就労に結びつきます。

3

分野ごとに熟知した講師に教わることもできる



介護の勉強と一口にいても、介護保険制度といった社会的な理解から認知症・介護技術、更には医学的側面から見た障害や老化の理解まで、その内容は多岐に亘ります。

当校では、介護福祉士・社会福祉士・看護師等、**各分野ごとに熟知した講師がそれぞれの科目を担当**しているため、より専門的に学ぶことができます。